

Ⅱ期

令和2年度

受験 番号	[] [] [] []	氏 名	[] [] [] [] [] []
	[] [] [] []		

武蔵野大学大学院 薬科学研究科薬科学専攻 修士課程 入学試験問題・解答 (1月12日)

[専門領域に関する筆記試験]

設問1 以下の設問に答えなさい。

問 1-1 粉体を造粒して、粒子径を大きくしたときに増大する性質はどれか。一つ○を付けなさい。

1. 安息角、2. 凝集性、3. 付着性、4. 空隙率、5. かさ（みかけ）密度

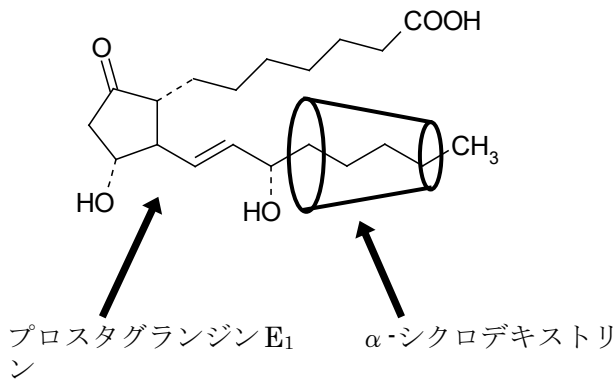
問 1-2 沈降法と最も関連の深い式はどれか。一つ○を付けなさい。

1. BET 式、2. Kozeny-Carman の式、3. Langmuir の式、4. Stokes の式、5. Young の式

問 1-3 粉体の性質として、正しい記述はどれか。一つ○を付けなさい。

1. 吸湿により安息角は小さくなる。 2. 密度差が大きいほど、混合性は良くなる。
 3. 粒子径が小さくなるほど、空隙率は大きくなる。 4. 均一な球形の粒子ほど、充填性は悪くなる。
 5. 粒子径が大きくなるほど、かさ密度は小さくなる。

問 1-4 以下に示す構造の安定化法について、最も関係の深い語句はどれか。一つ○を付けなさい。



- 1 包接化合物、 2 共融混合物、 3 リポソーム、 4 プロドラッグ、 5 コソルベンシー

問 1-5 主に滑沢剤として使用されるのはどれか。一つ○を付けなさい。

- 1 ヨウ化ナトリウム、 2 ダイズ油、 3 加水ラノリン、 4 フェノール、 5 ステアリン酸マグネシウム

設問2 設問2 以下に示した日本薬局方一般試験法のうち、一つを選び、その内容に関して、論述しなさい。

<試験法> 溶出試験法、崩壊試験法、含有量偏差試験法、無菌試験法